

## 今、第三者検証企業では...

JaSST'06 in Osaka  
パネルディスカッション

パネルリーダー: 西 康晴 (電気通信大学)

## パネルの流れ

- 【5分】オープニング
- 【20分】鈴木様、石原様の事例紹介
- 【20分】パネルディスカッション
- 【10分】会場からの質問と討論

## パネリスト

- 石原 一宏 様
  - バルテス株式会社
    - 大阪の第三者検証企業
- 鈴木 利彦 様
  - ベリサーブ株式会社
    - 東京の第三者検証企業
- 両名とも現場バリバリのテストエンジニア

## 事例紹介

- 鈴木様
  - KKD (勘と経験と度胸) からテストプロセスの構築へ
    - お客様の要望を聞いて、適切なテスト内容の提案をする
    - 11カテゴリのシステムテスト
  - 不具合の傾向を「見える化」して弱いところを見つけ、効率の良いテストをする
    - カーナビの事例: Active System Test
      - 発生した不具合からダイナミックにテストする範囲を変える

## 事例紹介

- 石原様
  - 組み合わせテストの設計過程例: 直交表/All-pair法
    - 抜け・漏れなくテスト対象項目を設定する
    - 効率よくモデリングする
    - 品質獲得目標に合わせて最適なデザインを行う
  - 意識されていない品質獲得目標を、お客様とよく話し合って顕在化する
    - 隠れた仕様・見えにくい設計を引き出す
    - コミュニケーション・コンセンサスの過程こそが重要

## 話題: 3VC のメリットは?

- 鈴木様:
  - テストができて、不具合の書き方を知っているエンジニアを提供できる
    - 開発者が直しやすい情報を提供できる報告
- 石原様:
  - 仕様じゃないけど(考え)直した方がよいところ (Recommendation) をキメ細かく提供できる
  - お客様が自身のテストを見直すきっかけになる

## 話題: 3VC の落とし穴

- 鈴木様:
  - 属人的になりがち
    - 標準化やスキル、資格でカバーしようとしている
    - よく面接した方がよい
- 石原様:
  - あまり調子のよいエンジニアの言うことは鵜呑みにしない
    - 銀の弾丸は無い
    - 根拠をきちんと答えられるエンジニアかどうか、歯ごたえのある答えをするかどうかを吟味する

## 話題: 自社の技術力は向上する?

- 石原様:
  - 「後は頼んだ」と言われると、一緒に品質を高めるきっかけがなくなるので、とても困る
    - もちろん品質を上げることはできるが...
- 鈴木様:
  - 開発側の弱い点を最後に報告するので、そもそもバグが少なくなっていく

## 話題: 「当たり」の 3VC を選ぶコツ

- 石原様:
  - まず自分たちが高い品質意識を持たば、しっかりやろうと思う
- 鈴木様:
  - 多少は「運」もある
  - センスがある人 (aka. ゴッドハンド) は性格の細かい人が多い
    - 新聞などの「間違い探し」が得意だったり、推理小説が好き
      - バグを犯人として、布石などを集めて推理し予想を立てる

## 話題: 3VC の効果が出やすいお客様

- 石原様:
  - 品質意識が高いことが重要
    - 品質意識が非常に高すぎてケンもホロロなこともあるが、それをきっかけにしてコミュニケーションできる
    - 一緒に品質を高めていくと、高い効果になる
- 鈴木様:
  - 「己を知る」ことが重要
    - 自分たちにできていること、できていないことをきちんと理解しておく、上手く活用できる

## 質問: どのような教育をしているか

- 鈴木様:
  - ETSSベースの教育体制がある
    - 社内のキャリアパス試験も導入している
- 石原様:
  - 社内プロセスに基づく教育カリキュラムがある
    - 腕っこきのエンジニアのノウハウを展開してテキスト化して共有する工夫もしている
      - ねばり強くヒアリングすると、頭の中のモデルが出てくる

## 質問: ユーザ側の受け入れ検査は?

- 石原様:
  - 組込み系が主なので、そういう案件はない
- 鈴木様:
  - 組込みのOSでLinuxを使った時のテストがある
- 質問者の方:
  - そういう検査をすると、面白いビジネスになる

## 質問:テストは仕様改善も必要?

- 質問:
  - テストの仕事は、暗黙の要求を汲み取って改善することになってしまうのではないかな?
- 鈴木様・石原様:
  - 最近は要求仕様の改善の案件もあるが、テストケースが作りやすい要求という観点から、かなり改善できる

ご清聴ありがとうございました

JaSST'06 in Osaka  
パネルディスカッション  
「今、第三者検証企業では...」